

参加者の感想

- 片足、片手が不自由ななか着替えをしてみて大変さを知ることができました
- お箸の体験が難しさを知り、印象に残った
- 患者さんと一緒にリハビリをしたりして、この職業に就きたいという思いが大きくなりました
- 嚥下困難な方の食事を食べたが、私たちでも食べやすいと感じ、味も私たちが普段食べているような物とあまり変わらない味で出来ていることに驚きました
- 患者さんと触れ合い、笑顔になってくれる人が多かった
- 患者さんとの関わり合いや特にコミュニケーション能力が必要だと感じた
- サポートも大事だが、コミュニケーションが一番大切だと思った
- 実際に働いている所を見てどんなことをしているか分かったことが印象に残っている
- 作業療法士は患者に器具やサポーターを作ることがあるということを知った
- 理学療法士は、立ち、歩き、飲食と全ての動作を治す中心であると分かった
- ケガした部分だけでなく、全体に気をかけてリハビリしていたこと
- 色々な症状を持った患者さんに適切に治療しているところがかっこよく、印象に残った
- 患者さんとの何気ない会話の中でその日の体調などを読み取って治療している姿を見て凄いなと思いました
- リハビリは辛いですが、出来るが増えて今は楽しいと笑顔で言っていたこと